

HSE Newsletter

創刊号 2024年5月15日発行

丸紅洋上風力開発株式会社では、秋田港・能代港の洋上風力発電所の運営・管理を担っております。その現場において、様々なHSE（健康・安全・環境）活動を実施しており、今年度よりそれらの活動をHSE Newsletterとして発行し、紹介することとしました。創刊号では、2023年度のHSE活動について紹介いたします。

2023年度の活動

Marubeni
Offshore Wind
Development

海上保安部・消防本部との合同救助訓練

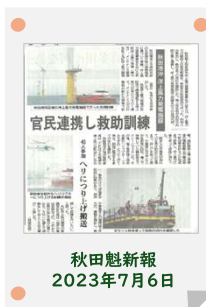
秋田港・能代港洋上風力発電所の運営管理を担う当社では、発電所の安定運営のために安全体制の構築を最重要課題のひとつと位置づけています。社内での自主訓練等による未然防止の努力はもちろんのこと、事故が発生した際には秋田海上保安部並びに地域の消防機関の協力を仰ぐことも想定しています。そのため、これまでに書面や現場視察を通じて設備や洋上風力発電施設の特異性を知っていただく取り組みを実施してきました。2023年度には、秋田港においては、秋田海上保安部・秋田市消防本部との合同救助訓練を実施。また能代港においては、能代山本広域市町村圏組合消防本部との合同洋上救助訓練を行いました。

秋田港：秋田海上保安部・秋田市消防本部との合同救助訓練



洋上風力発電施設内で作業員2名のうち1名がTP内で倒れたという想定で実施しました。

海上保安庁の機動救難班と秋田市消防の救助隊はCTV（人員輸送船：Red Star2）で洋上風力発電所へ移乗し、救助活動を実施し、要救助者をCTVまで降ろしました。一方で、第2管区の仙台航空基地よりヘリコプターが現場に出動し、CTVへ降ろされた要救助者を吊り上げ、そのまま搬送することに成功しました。



能代港：能代山本広域市町村圏組合消防本部との合同洋上救助訓練



能代港の洋上風力発電所のTPの点検作業を作業員AとBが2名で作業を行っていた際、作業員Bが高所から落下したものと想定し、訓練を行いました。脊椎損傷が疑われ、作業員A一名での救出が困難となり、救助要請となりました。消防本部では救助小隊および救急小隊を編成してCTVに乘船、洋上風力発電所へ向かい救助活動を実施しました。



訓練の内容が、消防・防災・レスキューの専門マガジン「Jレスキュー」（2023年11月号）に掲載されました。



○ 安全大会



秋田港・能代港の洋上風力発電所において、発電事業者である「秋田洋上風力発電株式会社」（AOW）、また風車本体の運転保守業務を担う「ベスタス・ジャパン」、そして当社の3社にて、初の安全大会を当社企画で行いました。発電所で働く会社・メンバー間の相互理解を深め、より安全でより良い現場づくりを目指すために実施しました。テーマに沿った各社からの発表の後、過去に発生したニアミス为例にしたセッションが持たれ、活発な意見交換がなされました。



○ 津波避難訓練



当社の操業は、洋上での作業であり、運転管理事務所も岸壁沿いに位置していることから、常に津波のリスクにさらされています。そのため、津波を想定した避難マニュアルを準備し、津波警報が発令されたことを想定した津波避難訓練を行いました。

訓練当日は、まず能代市役所の防災危機管理室に来訪いただき、能代市における災害の特徴などを学びました。訓練は、地震発生を受け、事務所のマリンコントロールルーム（中央管理室）から、洋上風車でメンテナンス作業を行う作業員とアクセス船（CTV）に連絡。津波警報発令を受け、避難場所となっている能代公園のあずまやを目指しました。訓練には地元下浜住民の方にも参加いただき、連携を図ることもできました。



○ 消火訓練・避難訓練・応急手当講習



当社の能代運転管理事務所では、緊急時に備え、各種訓練を実施しています。洋上に出る作業員については、GWO等のトレーニングで定期的な訓練を行っています。事務所員についてもできるだけ訓練の機会を設け、技量の維持に努めています。



○ 清掃作業



「秋田港一斉クリーンアップ」や能代市が実施する落ち葉清掃などの活動に参加し、地域の美化に努めています。